平成２９年度

大学院文学研究科博士課程前期２年の課程入学試験

（　春期・一般選抜　）問題

専門科目Ⅰ　　行動科学

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

受験番号	

成 績	

平成２９年度

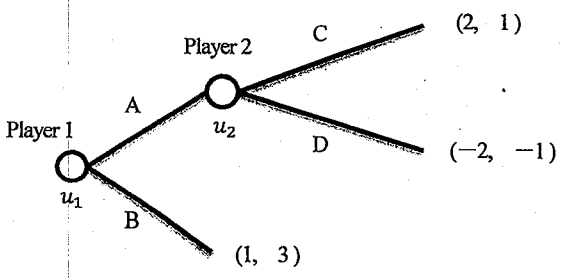
大学院文学研究科博士課程前期２年の課程入学試験

（春期・一般選抜）問題

専 門 科 目 Ⅰ（ 行動科学 ）

注意 問題用紙は２枚，解答用紙は３枚である．解答の順序は自由であるが，どの問題の解答であるかが分かるように，問題番号を間違いなく記入すること．

問題１．次の展開型２人ゲームについて，問いに答えなさい。



（１）このゲームの純戦略ナッシュ均衡を答えなさい．またその推論の過程を説明しなさい．

（２）このゲームのサブゲーム完全均衡を答えなさい．またその推論の過程を説明しなさい．

（３）このゲームの解釈として妥当な具体例を考えなさい（選択ＡやＢがどのような行為であるのかを具体的に説明すること）．

受験番号	

問題 2.　下の表は文化活動に関する回帰分析結果をまとめたものである。著者たちは、さまざまな文化活動を行っていることを示すオムニボア・スコアを調査データから算出した。オムニボア・スコアが高いほど、さまざまな文化活動を行っていることになる。

次に著者たちはそれを被説明変数とする回帰分析を行った（下の表）。説明変数は、男性ダミー（男性 1、女性 0 とするダミー変数）、年齢、現在結婚ダミー（既婚 1、未婚・離死別 0 とするダミー変数）、都市ダミー（区部と人口 20 万人以上の市部 1、人口 20 万人未満の市部・郡部 0 とするダミー変数）、主観的自由、等価所得（単位：万円）である。主観的自由というのは「自分の生き方は、おもに自分の考えで自由に決められる」かどうかという質問に対する回答で、「まったく当てはまらない=1」から「よく当てはまる=5」までの 5 件法で測定している。

この表に関して次の問いに答えなさい。

(1) モデル 1 において、都市ダミーの係数は正で統計的に有意である。その実質的な意味を簡潔に説明しなさい。

(2) モデル 2 において、主観的自由と等価所得の交互作用項の係数は正で統計的に有意である。このことの実質的な意味を簡潔に述べなさい。

	従属変数：オムニボア・スコア	
独立変数	モデル 1	モデル 2
男性ダミー	−0.08 ***	−0.08 ***
年齢	0.05 **	0.05 **
現在結婚ダミー	−0.04 +	−0.04 *
都市ダミー	0.09 ***	0.09 ***
主観的自由	0.09 ***	0.05 *
等価所得（万円）	0.11 ***	−0.03
主観的自由×等価所得		0.15 **
決定係数	0.04	0.04

（注）すべて N=2,769. 値は標準化係数. $^{+}p<0.10$, $^{*}0.05$, $^{**}0.01$, $^{***}0.001$

出典：小林盾・大林真也. 2016.「分析社会学の応用：文化活動はオムニボア（雑食）かユニボア（偏食）か」『理論と方法』31(2): 304-317. の表 2 を改変。

問題 3.　次の A 群・B 群のおのおのから語句を 3 つずつ（合計で 6 つ）選び，簡潔に説明せよ

A 群　①予言の自己成就　②間接互恵性　③パレート効率　④人的資本　⑤中範囲の理論

B 群　①正規分布　②無作為標本抽出法　③因子分析　④ロジスティック回帰モデル　⑤多重共線性

受験番号	

受験番号	

受験番号	